

研究活動 Research Activities

各研究者の研究活動を[展覧会の企画・構成]、[著書]、[論文]、[翻訳]、[エッセイ・作品解説など]、[口頭発表・講演など]、[その他の活動]の7項目を中心に報告する(研究者名の五十音順)。項目は各研究者によって多少の異同がある。また、これは研究者の美術館内外での主要な研究活動の報告であり、著作目録のようにあらゆる活動を網羅することを意図してはいない。大項目に絞った報告もある。

大屋美那 / Mina OYA

[著作、共著など]

『印象派美術館』(共著、共同監修)小学館、2004年11月
『ロダン事典』(共著、共同監修)淡交社、2005年3月
「松方幸次郎が収集したロダン彫刻」『ロダン事典』所収、淡交社、2005年3月

[定期刊行物]

「日本にもたらされたロダン《カレーの市民》」『ゼフェロス』No.21、2004年11月

[展覧会]

「ロダンとカリエール」展(2006年3月開催予定)の調査、企画、渉外

[講座]

「松方が収集したロダン彫刻」早稲田大学エクステンションセンター、2005年2月26日
「松方コレクションの19世紀フランス絵画」早稲田大学エクステンションセンター、2005年3月5日

[研究調査]

「当館所蔵のロダンのブロンズ彫刻の鑄造に関する調査」ロダン美術館学芸員アントワネット・ル・ノルマン=ロマン氏、ユーク・エルバン氏との共同調査:2004年6月30日、10月6日、10月7日
旧松方コレクション関係の資料の収集と調査

河口公生 / Kimio KAWAGUCHI

[彫刻修復処置]

ロダン作《国の護り》修復処置、ならびに免震化工事計画
ビストルフィ大理石彫刻洗浄処置
屋内彫刻防災対策計画

[絵画修復処置]

ウェイデン派《ある男の肖像》修復処置
他絵画3点
額縁3点

[タペストリー修復処置]

王立ゴブラン製作所《シャンボール城》

[研究会]

東京国立文化財研究所 防災研究会

[その他]

版画素描作品点検ファイル整備
絵画修復室備品材料棚卸し整備

[調査出張]

彫刻台座石製品検査、中国福建省(福州)
IIC国際会議参加(スペイン・ビルバオ)
ケルン大聖堂・ミュンヘン・グリプトテーク石材処理技術調査
ベルリン・ボーデ博物館、ベルガモン博物館石彫刻修復部にて、石材修復処置技術調査

[クーリエ出張]

イタリア・トレヴィーゾ:ファン・ゴッホ作《バラ》
ホルホル:モネ作《並木道》

川口雅子 / Masako KAWAGUCHI

[情報資料活動]

ALC(美術図書館横断検索)への参加
研究資料センターの公開運用
資料コーナーおよびデジタルギャラリーの公開運用
収蔵作品基本データの整備
独立行政法人国立美術館所蔵作品総合目録検索システムの公開

[論文]

「美術館のなかの図書館:国立西洋美術館研究資料センターの活動について」『博物館研究』第39巻11号(2004年11月)、pp.23-25
「事例 国立西洋美術館」『デジタルアーカイブ白書2005』、2005年3月、pp.42-43

[翻訳]

シャロン・チッカゼフ「北米美術図書館ニューヨーク地区部会」『アート・ドキュメンテーション研究』第12号(2005年3月)、pp.47-50

[エッセイ]

「資料コーナーについて」『ゼフェロス』第20号、2004年8月

[その他の活動]

「平成16年度図書館等職員著作権実務講習会」(2004年8月4-6日)修了
アート・ドキュメンテーション研究会役員
東京学芸大学非常勤講師(「アート・ドキュメンテーション論」、2004年10月-2005年3月)

幸福輝 / Akira KOFUKU

[著書]

『ピーテル・ブリューゲル——ロマンイズムとの共生』ありな書房、2005年3月
Rembrandt and Dutch History Painting in the 17th Century, National Museum of Western Art, 2004

[口頭発表、講演など]

「西洋美術への招待——国立西洋美術館の所蔵品を中心に」(全2回)、早稲田大学エクステンションセンター、2005年2月

[エッセイ]

「展覧会屋のことなど」『博物館研究』(第39巻第11号)、2004年11月

[その他の活動]

「キアロスカーロールネサンスとバロックの多色木版画」(2005年秋開催予定)のための準備
「英国風景画展」(仮)(2007年春開催予定)のための準備
「ベルギー王立美術館展」(仮)(2006年秋開催予定)のための準備
「ブリューゲルの時代の複製版画——ヒロエニムス・コックの版画出版活動を中心に」(科学研究費基盤研究B「16~17世紀における版画出版と古代の受容」)
東京大学人文社会系研究科兼任教授(文化資源学)
慶応大学文学部非常勤講師
美術史学会常任委員
美術史学会東支部3月例会企画運営
新潟県立近代美術館作品収集委員

佐藤直樹 / Naoki SATO

[展覧会]

「聖杯——中世の金工美術」展、カタログ・テキスト翻訳、編集補佐、展示2004年6月29日-8月25日
「ドレスデン国立美術館展——世界の鏡」展準備、2005年6月28日-9月19日開催予定
「チューリヒ工科大学所蔵イタリア版画」展、準備調査、2007年春開催予定
「ハンマースホイ」展、準備調査、2008年秋開催予定

[研究・調査等]

「16-17世紀西欧における版画出版と古代の受容」平成15-18年度科学研究費補助金基盤研究、「16世紀ドイツにおける版画出版と古代の受容 収集、整理、考察」2006年発表予定、国立西洋美術館（共同研究者：幸福輝）
版画素描学芸員国際会議参加：International Advisory Committee of Keepers of Public Collections of Graphic Art, XVIIIth Convention at Budapest, June 6-10th, 2002

[その他]

日本女子大学文学部史学科、講座：芸術・思想「西洋美術史——〈夢〉の表現の歴史」、2004年4月-2004年8月

高橋明也 / Akiya TAKAHASHI

[展覧会企画・構成]

「ジョルジュ・ド・ラ・トゥール——光と闇の世界」国立西洋美術館、2005年3月8日-5月29日

[著書]

『ジョルジュ・ド・ラ・トゥール——光と闇の世界』（共著：J.-P. キュザン他）、展覧会カタログ、読売新聞東京本社、2005年

[論文]

「文化装置としてのパリ万博」『万国博覧会の美術』展カタログ、日本経済新聞社、2004年、pp.174-175
「伝統とモデルニテ——パリ万博と美術家たち；1855-1900」、上記展覧会カタログ、pp.224-251
「闇からの声——日本における初のラ・トゥール展を巡って」、上記展覧会カタログ、pp.10-14

[翻訳]

デーヴィッド・ブレイン・ブラウン著『ロマン主義』岩波書店、2004年

[監修]

サラ・カーゴム著『西洋美術鑑賞解説図鑑』東洋書林、2004年
ジャン・ピエール・キュザン/ディミトリ・サルモン著『ジョルジュ・ド・ラ・トゥール——再発見された神秘の画家』創元社、2005年
「神秘の画家 ラ・トゥールの夜へ」『芸術新潮』特集、2005年3月号 pp.14-78

[エッセイ・作品解説など]

「聖トマス 東京が安住の地に」読売新聞2005年1月1日号
新収作品解説「ジョルジュ・ド・ラ・トゥール《聖トマス》」『国立西洋美術館年報』no.38、pp.9-12
新収作品解説「エティエンヌ・クレマンテル《太陽を背に飛ぶコウノリの群れ》」『国立西洋美術館年報』pp.13-14

[口頭発表・講演など]

「万国博覧会の中の西洋美術——パリ万博を中心として」東京国立博物館、2004年7月24日
「万博と西洋美術——“文化装置”としての万博」大阪市立美術館、2004年10月16日
「近代美術と万国博覧会——パリ万博を中心として」名古屋市立美術館、2005年1月16日

[製作協力]

フランス博物館科学調査・修復センター製作DVD-ROM『ジョルジュ・ド・ラ・トゥール——キリストと十二使徒』日本語版製作協力、2005年

[その他の活動]

「ジョルジュ・ド・ラ・トゥール」展プロデューサーと開催・運営および展覧会内容に関わる広報活動全般
国立西洋美術館構内整備委員会委員長
青山女子短期大学非常勤講師
いわさきちひろ絵本美術館運営委員
静岡県立美術館専門評価委員
東京国立博物館買取協議会臨時委員

高梨光正 / Mitsumasa TAKANASHI

[展覧会の企画・構成]

「ヴァチカン美術館所蔵古代ローマ彫刻展 生きた証——古代ローマ人と肖像」国立西洋美術館、2004年3月2日-5月30日

[論文・著作]

VIXERVNT OMNES - ROMANI EX IMAGINIBVS: Ritratti romani dai MVSEI VATICANI、上記展覧会イタリア語版カタログ、2004年（編集、共著）

[翻訳]

マリア・スフラメーリ「職人と商人の都フィレンツェ」『フィレンツェ——芸術都市の誕生』（展覧会カタログ）、日本経済新聞社、2004年、pp.29-36
ジョヴァンナ・ラッツィ「写本の経済学」『フィレンツェ——芸術都市の誕生』（展覧会カタログ）、日本経済新聞社、2004年、pp.44-48
『フィレンツェ——芸術都市の誕生』展カタログ、作品解説35点、日本経済新聞社、2004年

[口頭発表]

「オウイディウスの『変身譜』が変身する——アングイッラーラ訳とドルチェ訳と絵画」東京芸術大学、2004年12月18日、科学研究費「ティントレットと印刷文化」（研究代表者：越川倫明）関連研究会

[作品調査報告等]

個人蔵旧松方コレクションの15~18世紀イタリア絵画及び素描（テンペラ板絵3点および素描17点）の来歴調査及び作者同定を含む美術史的調査
石塚博氏寄託シモン・ヴァーエ、フランチェスコ・ボッティチーニ、ボニファッチョ・デ・ピターティ他の作品の様式分析、作者についての再検討および制作年代の特定
石橋財団所蔵ブリュッセル製タピスリー《ヨセフと兄たち》のボーダーの図像分析及び主題の再検討、タピスリー研究会第1回調査報告2004年4月30日、第2回調査報告2005年1月25日

[その他]

『ヴァチカン美術館所蔵古代ローマ彫刻展 生きた証——古代ローマ人と肖像』展スライドトーク
「保存担当学芸員研修」、東京文化財研究所、2004年7月6日-16日
2007年3月開催予定展覧会の準備調査
タピスリー研究会員
イギリス、ギヤルビン楽器学協会員

田中正之 / Masayuki TANAKA

[展覧会の企画・構成]

「マティス展」国立西洋美術館、2004年9月10日-12月12日

[著書]

（共著）『マティス展』カタログ、読売新聞社、2004年

[論文]

「マティスの彫刻における『プロセス』：《背中》あるいは『宙吊り』の彫刻」『マティス展』カタログ、pp.31-36

[エッセイ等]

「マティスをめぐる六つの変奏」『芸術新潮』2004年11月号（聞き）

[講演]

「マティスの彫刻におけるプロセス」国立西洋美術館、2004年11月13日
「マティスにおけるプロセスの問題」東京大学文学部、2004年11月16日
「モダニズムと伝統——モネからマティス、ピカソまで」ブリヂストン美術館、2005年2月5日
「マティス展を開催して」京都造形芸術大学主催講演会、日本橋公会堂、2004年2月26日

[その他の活動]

人文・社会科学振興プロジェクト研究(日本学術振興会)「伝統と越境——とどまる力と声行く流れのインタラクティブ」第1グループ「自己表象の生成と変容」メンバー
新収作品のための調査(アルベール・グレーズ「収穫物の脱殻」)
ムック展の調査・準備

田辺幹之助/Mikinosuke TANABE

[展覧会の企画・構成]

「聖杯——中世の金工美術」国立西洋美術館、2004年6月29日—8月15日

[著書]

『聖杯——中世の金工美術』展カタログ

[論文]

「中世末期と近世初期の金工美術と銅版画」、上記カタログpp.89-105

[講演等]

「聖杯——中世の金工美術」展、ギャラリー・トーク

[その他の活動]

「クラーナハ版画展」(仮称、2007年開催予定)の準備
旧松方コレクション作品調査
東京芸術大学非常勤講師、2004年9月—2005年3月

塚田全彦/Masahiko TSUKADA

[保存修復事業]

貸出作品保存処置(温湿度データロガーの設置、6月まで)

[論文等]

“Effect of formalin on animal glue – A preliminary study on the materials and techniques used in the paintings of ‘Panreal Art Group’ in Japan”, “Proceedings of Sixth International Infrared and Raman Users’ Group Conference”, Firenze, Institute for Applied Physics “Nello Carrara”, 2004, pp.311-315
「保存科学者の役割とイタリアにおける科学者たちの文化財保存への寄与」『博物館研究』Vol.39, No.11, 2004年, pp.20-22

[研究]

在外研究「近代絵画材料の非破壊的調査法に関する研究」、2004年6月18日～同年12月18日、Istituto di Fisica Applicata “Nello Carrara”(イタリア)、日本学術振興会特定国派遣(長期)研究者事業による
在外研究「近代絵画材料の化学的分析に関する研究」、2004年12月19日～2005年2月18日、Istituto di Fisica Applicata “Nello Carrara”(イタリア)、および2005年2月19日～同年5月18日、University College London(英国)、国立西洋美術館在外研究員制度による

[調査・その他]

版画収蔵庫新設に伴う空気汚染調査(2003年度より継続、6月まで)
「聖杯——中世の金工美術」展の展示具設営材料に関わる材質調査
文化財保存修復学会誌編集委員

寺島洋子/Yoko TERASHIMA

[教育普及活動]

「Fun with Collection 建築探険——ぐるぐるめぐるル・コルビュジェの美術館」企画・構成・実施、2004年6月29日—9月5日
「聖杯——中世の金工美術」『マティス』ジュニア・バスポート
2004年度インターンシップ・プログラム指導
2004年度ボランティア・プログラム指導
小・中学校教員のための夏期研修会の企画・実施
ファミリープログラム企画・実施

[報告書・エッセイ]

「アメリカのミュージアムにおけるインターンシップ——プログラム・マネージメントについて」平成14年度～15年度科学研究費補助金(特別研究促進費)研究成果報告書、2004年3月, pp.97-115
「国立西洋美術館連携の報告」『研究局+研修局報告書』東京都国画工作研究会、2004年度
「美術館教育のミッション——学校との連携から」『アートフォーラム21』vol.11, 2005年, pp.90, 91
「観賞補助ツール『びじゅつる』——その開発から改善まで」共著、『国立西洋美術館紀要』No.9, 2005年3月, pp.29-68

[その他の活動]

2005年Fun with Collectionの準備・調査
全国美術館会議会合共同企画および実施、九州国立博物館(2005年3月10日・11日)
東京大学人文社会系研究科併任助教授(2004年4月—2005年3月)
2004年度日豪美術館学芸員交流プログラム共催、プライアン・ラッド(ニュー・サウス・ウェールズ美術館教育部長)招聘、9月30日～10月14日

渡辺晋輔/Shinsuke WATANABE

[論文]

「旧松方コレクション由来のズッカレリりの風景画について」『国立西洋美術館研究紀要』No.9, pp.6-15

[書評]

「David Landau and Peter Parshall, The Renaissance Print 1470-1550」『西洋美術研究』No.11, pp.200-07

[その他の活動]

展覧会「キアロスクーロ ルネサンスとバロックの多色木版画」(2005年10月開催)の調査企画
展覧会「チューリヒ工科大学所蔵イタリア古版画展」(仮) (2007年開催予定)の調査企画
科学研究費補助金研究「16-17世紀西欧における版画出版と古代の受容」(共同研究)
構内整備検討委員会委員